

2024年度GCDプログラム科目

科目区分	科目名	単位数	備考
外国語科目	ACE Content-based Study	1単位	
	ACE General Communication Skills	1単位	
	ACE Exam Skills	1単位	
	ACE Multimedia Independent Study	1単位	
	ACE Presentation Skills	1単位	
	ACE Academic Training	1単位	
	ドイツ語Ⅳ	1単位	
	フランス語Ⅳ	1単位	
	中国語Ⅳ	1単位	
	スペイン語Ⅳ	1単位	
国際関係科目	留学による認定科目	-	
	グローバル人材育成プログラム科目	-	参照: 2024年度グローバル人材育成プログラム科目一覧
	海外留学演習Ⅰ～Ⅳ	各2単位	
	国際政治学	4単位	国際政治系パッケージ科目
	国際関係史	4単位	国際政治系パッケージ科目
	アジア政治論 ※1	2単位	国際政治系パッケージ科目
	アメリカ政治論	2単位	国際政治系パッケージ科目
	ラテンアメリカ政治論	2単位	国際政治系パッケージ科目
	アフリカ政治論	2単位	国際政治系パッケージ科目
	ロシア政治論	2単位	国際政治系パッケージ科目
	東欧政治論	2単位	国際政治系パッケージ科目
	国際法A	2単位	国際政治系パッケージ科目
	国際法B	2単位	国際政治系パッケージ科目
	比較政治論 ※1	4単位	国際政治系パッケージ科目
	比較政治論(東アジア) ※1	4単位	国際政治系パッケージ科目
	日本・アジア地域論A～D	各2単位	国際政治系・国際経済系パッケージ科目
	日本・アジア文化論A～D	各2単位	国際政治系・国際経済系パッケージ科目
	ヨーロッパ地域論A～E	各2単位	国際政治系・国際経済系パッケージ科目
	ヨーロッパ文化論A～E	各2単位	国際政治系・国際経済系パッケージ科目
	アメリカ地域論A～D	各2単位	国際政治系・国際経済系パッケージ科目
	アメリカ文化論A～D	各2単位	国際政治系・国際経済系パッケージ科目
	連環地域文化論A～D	各2単位	国際政治系・国際経済系パッケージ科目
	国際経済学	4単位	国際経済系パッケージ科目
	経済地理学	4単位	国際経済系パッケージ科目
	開発経済学	4単位	国際経済系パッケージ科目
	国際経済政策	4単位	国際経済系パッケージ科目
	国際金融論	4単位	国際経済系パッケージ科目
	身体文化論	2単位	国際地域・文化論コース科目
	スポーツ文化論	2単位	国際地域・文化論コース科目
	表象文化論	2単位	国際地域・文化論コース科目
	民俗学A	2単位	国際地域・文化論コース科目
	民俗学B	2単位	国際地域・文化論コース科目
	社会人類学A	2単位	国際地域・文化論コース科目
社会人類学B	2単位	国際地域・文化論コース科目	
異文化ビジネス論概論	2単位	国際地域・文化論コース科目	
実践異文化ビジネス論	2単位	国際地域・文化論コース科目	
就業力育成総合講座B	2単位	小西淳文・教授会で承認された科目	
経済政策特殊講義A	2単位	小西淳文・教授会で承認された科目	
経済政策特殊講義B	2単位	小西淳文・教授会で承認された科目	
外国語実施科目	Top School Seminar科目	各2単位	
	教養演習ⅠC/ⅡC	4単位	ジョージ・ジョニー
	教養演習ⅠC/ⅡC	4単位	津田太郎
	教養演習ⅠC/ⅡC	4単位	デヴェラ、ローナヴェリアL.
	教養演習ⅠC/ⅡC	4単位	ブルチャーミヒヤエル
	教養演習ⅠC/ⅡC	4単位	アベシンヘムディヤンセラゲ、ニロスC.
	日本政治史	4単位	津田太郎
	日本政治思想史	2単位	ブルチャーミヒヤエル
	日本政治文化論	2単位	ブルチャーミヒヤエル
	マスメディア論	2単位	杉田弘毅
	メディアと世論	2単位	杉田弘毅
	数理経済学	4単位	井上朋紀
	政治過程論 (秋学期開講のみ)	4単位	加藤言人、※春学期開講の同科目は日本語実施のため、プログラム対象外です
	政治学特殊講義C	2単位	李永シュ
	政治学特殊講義C	2単位	津田太郎
	政治学特殊講義D	2単位	津田太郎
	政治学特殊講義E	2単位	ブルチャーミヒヤエル
	政治学特殊講義F	2単位	ブルチャーミヒヤエル
	マスコミュニケーション特殊講義D	2単位	杉田弘毅
	経済政策特殊講義E	2単位	小西淳文
	経済政策特殊講義F	2単位	小西淳文
	国際文化特殊講義E	2単位	ネルソン、リンジー
国際文化特殊講義F	2単位	ヨーク ジェームズ	
応用総合講座H	2単位	武田 巧	
	英語による大学院開講講義科目	-	

※1 開講期または開講時限により、日本語開講のコマと英語実施のコマがあります。英語開講のコマを修得した場合は、プログラム修了要件における「国際関係科目」の単位としての参入に代えて、「外国語実施科目」の区分での修得として取り扱うことができます。希望者は、プログラム修了時の申請において、どちらの区分の修得単位として取り扱うか選択することとなります。(両方の区分で二重カウントすることはできません)